

行動制限措置解除の指標・目安について

1 考え方

- (1) 指標は前回の緊急事態措置解除要請基準と同じく、「新規陽性者数」と「重症病床使用率」とする。
- (2) 目安は、感染状況が一定程度収束したと確認できるレベルとするとともに、変異株等の影響も考慮し、前回基準より厳しくする。

2 案

下表の①を満たし、②を目途として医療状況を勘案し、大阪府などの状況も踏まえ総合的に判断

指 標	目 安	考 え 方
① 新規陽性者数	7日間連続して、人口10万人あたり(週間) <u>2人以下</u> 〔1週間平均15.6人〕	本県の第2波が一定程度収束し、小康状態となったレベル(9/1:2.5人/人口10万人)以下
② 重症病床使用率	7日間連続で、 <u>20%未満</u>	国ステージⅢからの脱却

(現況)

区 分	6/10	6/11	6/12	6/13	6/14	6/15	6/16
新規陽性者数対10万人 (1週間平均)	7.6 (59.6)	7.0 (55.4)	6.3 (49.3)	5.6 (44.3)	5.6 (44.0)	5.1 (40.6)	4.6 (36.4)
重症病床使用率(%)	45.5	43.3	44.1	42.6	41.9	27.2	26.4

(参考) 緊急事態措置の解除を国に要請する基準 (前回)

指 標	基 準
① 新規陽性者数	7日間連続して、人口10万人あたり(週間) <u>10人以下</u> 〔1週間平均78.1人〕
② 重症病床使用率	7日間連続で、 <u>50%未満</u> (国ステージⅣからの脱却)

※ ①かつ②を満たす場合に、入院調整者数等の状況も踏まえて総合的に判断

新型コロナウイルス感染症患者週別発生状況

～ 第2波収束時を中心として ～

